



蒲郡市公共施設マネジメントニュース

蒲郡市では公共施設マネジメントを進めています。

- 公共施設マネジメントとは、地方公共団体などが所管する公共施設を自治体経営の視点から、総合的、統括的に管理・運営・活用する仕組みです。
 - 高度経済成長期の人口増加に伴い建設されてきた多くの公共施設は、今後一齐に建替えや改修の時期を迎えることから、現在ある施設をそのまま維持していくと、将来世代に大きな負担を残すことになってしまいます。
 - 本格的な人口減少、少子高齢化時代の到来を見据え、今後は、施設規模の適正化や運営の効率化を図るとともに、社会の変化や新しいニーズに対応するための整備を行う必要があります。
- これらを踏まえて、蒲郡市では公共施設マネジメントの取り組みを進めています。

これからの公共施設はどうあるべきか

蒲郡市では、方針や計画の策定など様々な段階で、市民の皆様のご意見をお聞きしながら、公共施設マネジメントを進めています。平成28年度は、以下の取り組みを実施しました。

平成28年度の取り組み

若者まちづくりミーティング

将来を担う世代(16歳～37歳)の方々15名にお集まりいただき、5回にわたって「若者まちづくりミーティング」を開催しました。公共施設の実地見学やワークショップなどを通じて、将来のまちづくりや公共施設の役割について議論され、「若者の意見によるまちづくりの方向性」として意見が集約されました。



若者の意見によるまちづくりの方向性(項目のみ)

- ・「全市利用型施設」の機能の配置と複合化
- ・市民の健康づくり
- ・会議室機能の集約
- ・「竹島周辺エリア」の魅力向上
- ・博物館の展示機能の配置の見直し
- ・地域で助け合い、子どもを育てる
- ・保健・福祉施設の配置と機能集約
- ・将来負担の軽減
- ・地区の特色を生かす

平成28年度の取り組み

蒲郡市公共施設マネジメント実施計画策定会議

今後の施設整備の方策等を示す「公共施設マネジメント実施計画」を策定するにあたり、その内容について議論していただく場として、4回にわたって「蒲郡市公共施設マネジメント実施計画策定会議」を開催しました。市内の公共的団体の代表者や学識経験者等10名により、目標設定の考え方や施設用途別の方向性、今後の公共施設マネジメントの進め方などについて議論されました。





蒲郡市では、目標や施設用途別の方向性、実行体制など、今後の公共施設の整備を進めるための方策等を示す「公共施設マネジメント実施計画」を策定しました。以下はその内容の一部です。

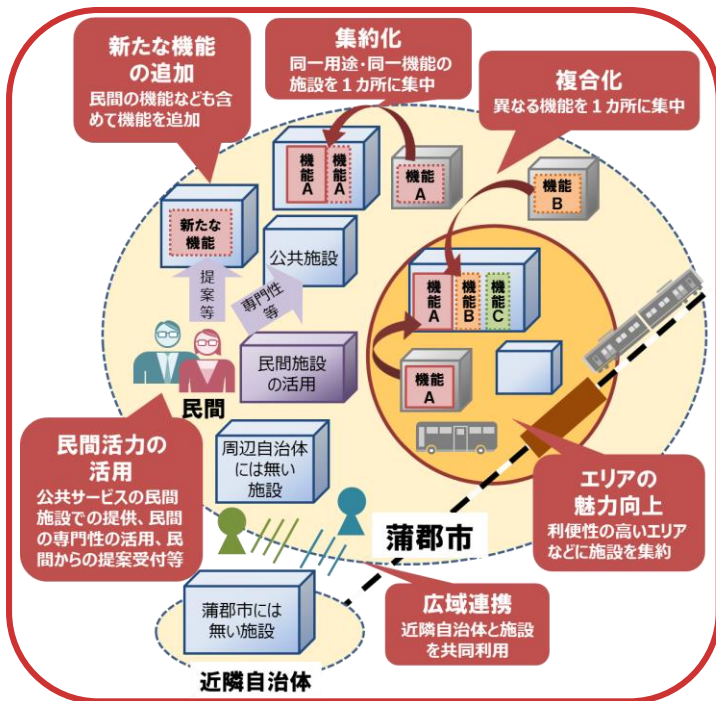
公共施設マネジメントの目標

- ① 建物の更新の際に概ね3割の床面積を縮減する。
50年後の人口規模を見据えながら、「身の丈にあった」維持可能な施設保有量に適正化していきます。
- ② 保有床面積の縮減と建物の長寿命化による費用の平準化により、30年間で523億円の維持更新費用を縮減する。
蒲郡市の財政規模でまかなえるように、維持更新費用を抑えます。長寿命化は、建物を適切に維持して長持ちさせることで維持更新費用の平準化を図るものです。

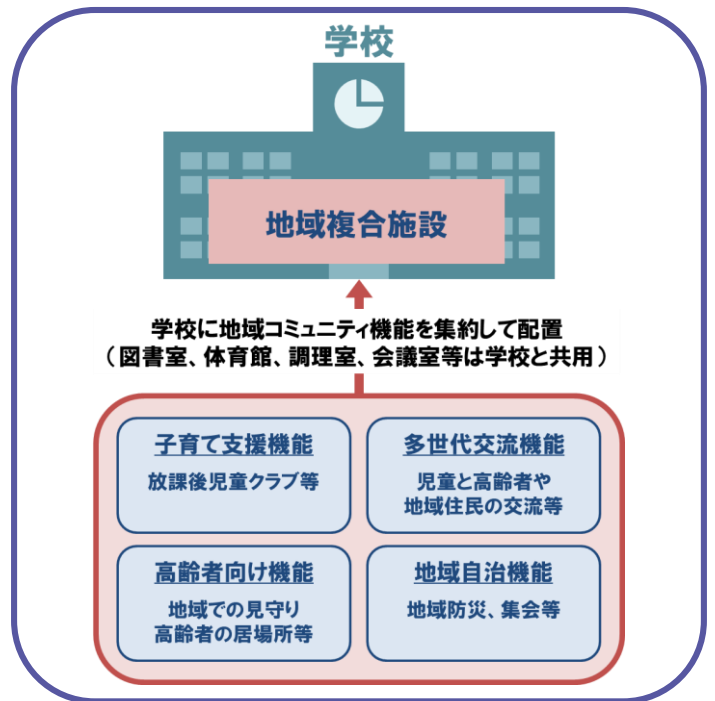
施設整備の基本的な考え方

「全市利用型施設」(市民会館、博物館、図書館など市内全域の住民の皆様が主な利用者になる施設)は、複合化や集約化により施設の総量を縮小するとともに運営の効率化を進めます。

「地区利用型施設」(小中学校、公民館、保育園、児童館といった施設が立地する地区の住民の皆様が主な利用者になる施設)は、学校に「子育て支援機能」、「高齢者向け機能」、「多世代交流機能」、「地域自治機能」を集約し、多様な活動を行うことができる交流拠点を形成することで、コミュニティの維持・活性化を図ります。



「全市利用型施設」の再編イメージ



「地区利用型施設」の再編イメージ

今後の進め方

「全市利用型施設」は施設再編の案件ごとに、「地区利用型施設」は地区ごとに具体的な施設再編の内容を示す「個別計画」を策定していきます。

「個別計画」の策定にあたっては、ワークショップ等の実施により、市民の皆様の方針やアイデアを取り入れていきます。市民の皆様と協働してまちづくりを進めていくことで、公共施設を含むまちの魅力向上させ、「住んでよかった」「住み続けたい」と思えるようなまちを目指します。

ワークショップ等の開催については、「広報がまごおり」等で随時お知らせしますので、ぜひご参加ください。